

# 歴史的風致を 有するまち



## 石川県金沢市

金沢城、兼六園を核とした近世城下町の都市構造、歴史遺産が良好に残っている金沢。それらの中で一体となって近世以来の伝統を伝える多様な文化や工芸技術が息づいている。

重要伝統的建造物群保存地区周辺で、  
今もなお伝統的な産業が営まれている



## 滋賀県彦根市

彦根は、古くから交通の要衝として長い歴史を刻んできた。彦根城とその城下町、山麓に展開する社寺仏閣、東山道・東海道・中山道と名を変えた街道と高宮宿・鳥居本宿などで形成される市街地において茶道や能楽などをはじめとした伝統文化が根付いている。

## 岐阜県高山市

春の山王祭と秋の八幡祭とあわせて「高山祭」と呼ばれており、その起源は16世紀から17世紀といわれている。三町・下二之町大新町伝統的建造物群保存地区や重要文化財日下部家住宅などがある歴史的な町並みを豪華絢爛の屋台や伝統衣装をまとった行列が巡る。



重要文化財等建造物周辺で、  
今も続いている祭礼行事



## 愛知県犬山市

針綱神社の祭礼として江戸時代から続く犬山祭は、寛永12年（1635）に始まったといわれている。国宝犬山城の城下町を車山が巡行する祭礼は、歴史的な趣を残す町のたたずまいを一層際立たせるとともに、からくり人形などに見られる匠の技巧や歴史と文化が融合することで、全国的にも貴重な光景を繰り広げている。

日本全国各地には、歴史的風致を有しているまちがまだまだたくさんあります。

「歴史まちづくり法」の最大のポイントは、“まちづくり行政と文化財行政との連携”。

国土交通省は、農林水産省、文化庁と連携して歴史まちづくりを進めようとする全国の市町村を多様な支援制度でサポートしていきます。